



**2/8 北海道社会貢献賞を受賞
交通安全功労者**
長きにわたり交通安全指導員として従事されている石田武さんと西山紘さん、久住八郎さんが北海道社会貢献賞（交通安全功労者）を受賞し、石田さんと久住さんが椿原紀昭町長へ報告に訪れました。3人はこれまで街頭指導や啓発活動に率先して従事し、事故の未然防止・児童の交通安全教室および指導に努められました。椿原町長から感謝の言葉が贈られると、訪れた2人は「これからも微力ではあります、交通安全事故防止に向けての支援をしていきたいです」と話していました。

**2/14 町のPR動画が完成
動画制作WORKSHOP**
町のPR動画制作に町民が取り組む「自分で栗山町のPR動画をつくらうWORKSHOP」で、このたび町のPR動画が完成し、役場で完成試写会及び修了証書交付式が行われました。この事業は、くりやま若者シティプロモーションアクションプランに基づく「クリエイター活躍促進事業」の一環で、町内外の15歳から29歳まで4組15人が参加。講師に招いた株式会社電通北海道の社員の実践的な指導を受けながら、参加者は昨年10月から3回にわたり企画から撮影・編集までチームごとにテーマを決



め、魅力的な30秒の動画に仕上げました。視聴した佐々木学副町長は「農業や国産オムラサキなどが出演するこれらの動画が本町の魅力を発信する貴重な素材となることを期待しています」とあいさつ。その後、参加者全員に修了証書が交付されました。また、完成した動画は次からご覧いただけます。

①「私が栗山町を選んだ理由」
<https://youtube.com/watch?v=4Go>
②「笑顔」が溢れるまち栗山町
<https://youtube.com/watch?v=7mS8z7bQ>
③「オムラサキとくらすまち栗山町」
<https://youtube.com/watch?v=Z1sU1NnVJK>
④「栗山幸福病事件」
<https://youtube.com/watch?v=4MCIrgrpho>

**2/17 冬の暮らしを提案
東海大環境保全演習**
東海大学教養学部学生18人が北海道の暮らしや環境保全などを考えようと5日間、雨煙別小学校コカ・コラ環境ハウスを拠点にして「環境保全演習」を行いました。公益財団法人コカ・コラ教育・環境財団の寄附講座として実施されたことを機会に今年で10回目。学生たちは冬の遊びを体験したり、企業調査などを行った上で栗山の魅力を学習した後に「関東の大学生に提案する栗山町一日体験プログラム」をテーマにプレゼンテーションを行い、アイデアを共有しました。



**1/24 災害発生時に情報発信を
栗山警察署とアマチュア無線同好会**
栗山警察署（馬淵蔵署長）と南空知地区アマチュア無線同好会（澤野利一会長）が「災害発生時における情報発信等に関する協定」を締結しました。この協定は、地震、風水害その他災害が発生、または発生するおそれがある場合に、栗山、南幌、長沼、由仁各町の被災状況および救援要請に係る情報発信活動などが盛り込まれています。栗山警察署で行われた締結式で、馬淵署長が「相互の連絡体制を強固にし警察活動の支援協力をお願いしたい」と述べました。

**1/27 全道各地から86チームが集う
フットサルフェスティバル**
小学生による室内サッカー「オオムラサキカップ第27回くりやまフットサルフェスティバル」が、スポーツセンターを主会場に行われました。U-12サッカーリーグズネット北海道とくりやまFCの主催。道内屈指の規模を誇る大会で86チームが参加。地元からは新人の部（5年生）でくりやまFCが出場し、素早いドリブルやパスで相手陣営に攻め込み得点を重ねる姿に、応援に駆け付けた町民や父母などから熱い声援が送られていました。



**2/5 農業を目指すきっかけに
田中誠司さんが動画作成**
町内の若手農業者が中心となって組織されている栗山町4Hクラブの田中誠司さんがPR動画を公開しました。所属する北海道4Hクラブ連絡協議会が中心となり、道内の加盟クラブから動画を募集。本町をはじめ「北海道の農業に携わる人々」にスポットを当てた動画となっています。田中さんは「働く現場の様子を見て農業を目指すきっかけになってもらえたらうれしいです」と話していました。動画は次からご覧いただけます。

◆平成29年度栗山町共同募金委員会表彰式
◆平成29年度栗山町共同募金委員会表彰受賞者
◆栗山高等学校
◆ヘンケルエイブルスティック ジャパン株式会社北海道工場
◆岩見沢ヤクルト販売株式会社 栗山サービスセンター
◆社会福祉法人栗山ゆりの会 指定障害福祉サービス事業所ハローE N J O Y

